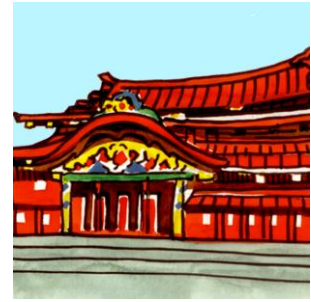


沖縄研修通信

<No.3>



<沖縄研修が近づいてきました！>

研修旅行“沖縄研修”が、あと2か月に迫ってきました。今までに沖縄を旅行等で訪れた経験のある人は、2年生の皆さんの中にどのくらいいるのでしょうか。先日「ひめゆりの塔」という映画を見ましたが、どのような感想を持ちましたか。平和学習は今回の修学旅行での大変重要な目的です。沖縄のもつ“2つの顔”について知ってほしいと思います。

※沖縄が持つ“2つの顔”について※

皆さんは、“沖縄”について、どのようなイメージを持っていますか？リゾート地、または観光地など、旅行で訪れる場所というイメージが強いと思います。現在の沖縄は、“観光名所が多い県”、“本州とは異なる、独自の文化を持っている県”が一つの顔です。気候が温暖でシーサーやガジュマルの樹、ハイビスカスの花などが有名です。また、沖縄の方言を初めて聞く人にとっては、驚きと共に新鮮さを感じると思います。

そしてもう一つの顔は、唯一“日本国内で地上戦が行われた県”でもあります。それは太平洋戦争（大東亜戦争とも呼ばれます）の末期である1945年にまで時代はさかのぼります。日本側は多くの兵力を投入して戦闘を繰り広げ、両軍の指揮官が戦死するなど太平洋戦争の中でも有数の激戦地となりました。4月1日にアメリカ軍は沖縄本島に上陸して、6月下旬に戦闘が終了するまでに、日本側の死者・行方不明者の中で沖縄出身者は約12万人で、そのうち約9万4千人が民間人であるといわれています。この戦争において、実に多くの尊い命が奪われた地なのです。

沖縄研修では平和記念資料館やひめゆりの塔などへ行くことになりますが、皆さんには日本が過去に経験した、絶対に忘れてはいけない戦争の事実を知って欲しいとともに、歴史について実際に目で見て感じて、そして平和の大切さを学んでほしいと思います。